

## 令和4年9月市長定例記者会見

日 時：令和4年8月31日（水） 午後1時30分～

場 所：射水市役所会議室302

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、北日本放送、  
富山テレビ放送、チューリップテレビ、庄東タイムズ、ホットライン  
**KOSUGI**

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、子育て支援課  
長、市民活躍・文化課長、未来創造課長、総務課長

### ○質疑応答の概要

Q 1. 医療費助成事業の対象年齢を15歳から18歳に引き上げたことにより、新たに対象となる人数は何人か。

A 1. 約2,700人。

Q 2. 射水市として、子育て支援においてその他取り組みたいことは何か。

A 2. 9月補正予算にて提案予定の、原油高・原材料高の影響を受けて、本来であれば給食費を値上げしなければいけない状況であるが、値上げをせず、市の方で対応し、子育て世帯の経済的な負担の軽減に取り組む予定。

Q 3. 外国人ヘルプデスクを開設する前は、悩みがある外国人の方に対して、どのように対応していたのか。

A 3. ポルトガル語相談窓口を開設していた。これまでは、外国人住民の方が窓口に来られる際には、日本語を話せる方と一緒に来られるケースが多かったが、今回外国人ヘルプデスクを開設させていただくので、気軽に市役所にお越しいただき、いろんな生活相談をしていただければと考えている。

Q 4. 令和5年1月に台湾で開催予定の絵画展では、射水市のPR活動も行うのか。

A 4. 内容についてはこれから詳細を決めていくが、可能であれば行いたい。

Q 5. 子ども医療費助成事業について、対象は高校生世代と書いてあるが、働いていても 18 歳までであれば助成対象となるのか。

A 5. 学生でなくても対象となる。

Q 6. 子ども医療費受給資格証を持っていないと、助成の対象にはならないのか。その他の保険証やマイナンバーカードを受給資格証の代替とすることは検討していないか。

A 6. 受給資格証を持つことによって、県内全域で窓口での負担なく治療を受けられることになっているため、受給資格証は県内共通のものであり、受給資格証を持っていない場合は、受給することはできないという点は仕組み上ご理解いただきたい。マイナンバーカード等での代替について、一つの考え・可能性としてはあると考える。代替を行うとなると県内全域で検討・準備していく必要がある。

Q 7. 外国人住民が増加している要因についてどう考えるか。

A 7. 外国人の方が働く場として国内に来ていることも要因の一つと考えるが、本来はより早い時期に日本に来る予定だった方がコロナの影響で足止めがあり、渡航できるようになったタイミングで国内に来ているという可能性もあると考えている。また、外国人の中古車販売が増えていることも事実であり、その販売に関わる従業員についても増えていると聞いている。

Q 8. オミクロン株対応型のワクチン接種における対応について

A 8. オミクロン株対応型のワクチン接種について、接種対象者・接種機関・接種スケジュール等、詳細の内容が示されていない状況である。接種を進めていくためにはシステムの改修や医療機関との調整が必要である。詳細が示されたならば、可能な限り早く接種できるよう努めていきたい。

Q 9. 国の方針である 9 月中の接種を考えると 1 か月以内に準備することになるが、射水市における接種時期の目途について

A 9. 具体的な時期を申し上げることはできないが、これまでの接種券の発行・発送のスケジュールを考えると、現在詳細が示されていない状況で 9 月中の接種というのは、難しいのではないかと考えている。

Q 1 0 . 子ども医療費助成事業の事業費について

A 1 0 . 今年度の事業費は 14,693 千円。

Q 1 1 . 子ども医療費助成事業の対象年齢拡大における、県内他自治体の取り組み状況について

A 1 1 . 魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町が取り組んでいる。小矢部市は入院のみ 18 歳まで助成していると聞いている。

Q 1 2 . 今後の旧統一教会との関わりについて、夏野市長自身の考えをお伺いしたい。

A 1 2 . これまでも選挙での関り、イベントや事業への出席をしたことはなく、今後もこれまで通り、関りが無い・関わらないという対応をしていく。